

# 広報あしや

2001年(平成13年)9月15日号

No.828

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121  
〒659-8501  
兵庫県芦屋市精道町7番6号  
ホームページ  
http://www.city.ashiya.hyogo.jp/  
メールアドレス  
info@city.ashiya.hyogo.jp



防災総合訓練を実施しました  
9月5日、海洋町(南芦屋浜)で防災関係機関、自主防災会、中学生等が協力して初期消火訓練、避難誘導訓練、水防訓練、炊き出し訓練などを行いました。

- ～運動の重点～
- ・高齢者の交通事故防止
  - ・シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底



市内の交通事故発生状況 1月～7月

区分	人身事故 件数	死者 (人)	傷者(人)	
			軽傷	重傷
平成13年	321	0	363	20
平成12年	231	0	262	19
増減	+90	0	+101	+1

## 第29回 高齢者スポーツ大会

秋の一日、さわやかな汗を流しましょう。多数の参加をお待ちしています。

日時 10月8日(月・祝)  
午前10時～午後2時30分  
(雨天の場合中止)

会場 川西運動場

高齢者保健福祉月間(9/1～9/30)  
広報あしや 臨時号を発行しました

敬老会や高齢者スポーツ大会の催し、生きがい対策事業、介護保険等の記事を掲載した「広報あしや臨時号」を9月1日に発行しました。

集会所等市内公施設に置いてありますので、ご利用ください。3面「芦屋市単位老人クラブ一覧表」に間違いがありました。喜楽会・井川等様の電話番号は、正しくは☎32-8775です。訂正しお詫びします。

## 9月21日～30日 秋の全国交通安全運動

一人ひとりが交通ルールを守り、正しい交通マナーで交通事故防止に努めましょう。

現在、県下の交通事故死者は昨年を上回る勢いで増加しており、中でも高齢者の死者数は三割強を占めています。

下表のとおり、市内でも人身事故が大幅に増加しており、特に高齢者の交通事故死者は昨年を上回る勢いで増加しており、中でも高齢者の死者数は三割強を占めています。

市内におけるシートベルトの着用率(運転手調査結果)は八七パーセントとなっています。

もし着用していれば、大事故にはならなかったと思われる事故が多く発生していますので、運転手だけでなく、同乗者のかたもシートベルトを着用しましょう。

チャイルドシートについては、平成十二年四月一日から着用が義務づけられています。

子どもの安全は保護者や同乗者の責任であり、子どもが嫌がってもつけとして指導されるようお願いいたします。

## 平成14年度 新入園児を募集します

平成十三年度から通園区域を廃止し、全市自由園区となつておりますので、希望の幼稚園に通園が可能です。

徒歩通園できる幼稚園をお選びください。

保育の一貫性、お父さん、お母さんが、卒園まで同じ幼稚園で保育を受けることが望ましいです。

平成十三年度、この点も考慮いたたくようお願いいたします。

応募資格 市内に居住している平成八年四月一日から平成十年四月一日の間に生まれた五歳児(二年保育)および四歳児(一年保育)

申込期間 十月十五日～十九日

各幼稚園では下記のとおり、受付指定日を設けていますので、受付指定日にお申し込みください。入園願書の提出は一園のみに限ります。

受付時間 いずれも午後一時～三時

願書配布 十月一日月から各幼稚園にて

幼稚園	住所	電話番号	受付指定日
精道幼稚園	川西町11-10	☎22-0208	10月15日(月)
宮川幼稚園	浜町1-20	☎22-5995	10月16日(火)
岩園幼稚園	岩園町24-3	☎22-5038	10月15日(月)
小権幼稚園	打出小権町15-7	☎22-4885	10月15日(月)
朝日ヶ丘幼稚園	朝日ヶ丘町10-3	☎32-0278	10月16日(火)
西山幼稚園	西山町22-15	☎32-5457	10月15日(月)
伊勢幼稚園	伊勢町13-14	☎31-8313	10月16日(火)
潮見幼稚園	潮見町1-3	☎34-0710	10月16日(火)
浜風幼稚園	浜風町1-2	☎31-1505	10月15日(月)

## ご存知ですか?ごみのイエローカード

～地球にやさしい環境を芦屋市民の手で!～

問い合わせ 環境サービス課 ☎22-2155

市では、「地球にやさしい環境を芦屋市民の手で!」をスローガンにごみの分別収集に取り組んでいます。

この取り組みは、多くの市民の皆さんに、ご理解と協力をいただいておりますが、まだ一部、マナー違反の市民のかたが、おられ、ご近所のかたの迷惑になっております。

決められた日に決められたごみを排出していただくため、「イエローカード」を、マナー違反のごみに添付し、収集しないという取り組みを行っています。

カードを貼られたごみの排出者のかたは、一度ごみを持ち帰り、決められた日に再度、出してください。

### 保育フェスティバル

日時 10月27日(土)  
午前10時～午後2時

会場 体育館・青少年センター

内容 パラバルーン演技  
あそびコーナー  
相談コーナー  
給食コーナー など

### 心豊かに育ち合う 地域に根ざす保育所

保育所では、保護者が仕事や病気などのため、家庭で保育することができない児童を保護者に代わって保育すると共に、家庭で子育てをしているかたがたにも、一緒に考え遊びながら子育てをしていただくこと、さまざまな取り組みをしています。

## 保育所のページ

CHILD CARE

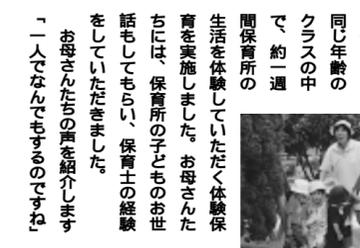
このページの問い合わせは 保育課(☎38-2045)へ



### 園庭開放をしています

地域のかたにも保育所を活用していただけるよう、毎月、日を決めて園庭を開放し、保育所の子どもたちと一緒に楽しいひとときを過ごしていただいています。

遊びに来られたかた同士、親子で顔見知りになり、友達の輪が広がったり、また保育所のことを知っていただくよい機会になっていきます。前回の園庭開放では、楽しく遊んだ後に試食できる機会を用意しました。簡単な炊き出し(鶏肉のオレシシ煮、マヨネーズソース)を食べていただきました。



### 体験保育に参加しませんか

地域の子どもが一緒に生活体験していただく体験保育を実施しました。お母さんたちには、保育所の子どものお世話もしてもらい、保育士の経験をさせていただきました。

お母さんたちの声を紹介します。「一人でなんでもするのですね」

### 育児教室で仲間づくり

打出保育所

六月の毎週水曜日午前10時から午前11時まで、四回シリーズで、育児教室を開きました。内容は、スキンケア、あそび、食事のほかに、健康のほかに、絵本、手作りおもちゃの紹介、井戸端会議など。

一回目の時は緊張していたお母さんたちも、回を重ねるたびに笑顔が多くなり、会話も弾んでいきました。梅雨の真つた中、天気には恵まれませんでしたが、心の中は青空!最後の日には、お茶とお菓子で打ち



### 公園で出前保育しています

精進保育所

年長クラスの子どもたちが宮塚公園に出かけ、地域の子どもたちと一緒に、手遊びをしたり、歌を歌ったり、紙芝居やエロシシアターなどの遊びを楽しんでいます。

「保育所ってだれも遊びに行っていないのね」



### 和風園で世代間交流

岩園保育所

子どもたちと一緒に手拍子しながら口ずさんでくれた、おじいちゃんおばあちゃんに質問してみました。

「おじいちゃん、なにを食べてました?」

「おじいちゃん、なにを食べてました?」

「おじいちゃん、なにを食べてました?」

「おじいちゃん、なにを食べてました?」

「おじいちゃん、なにを食べてました?」

### 体験保育の参加者募集

会場	岩園保育所(☎31-0335)	緑保育所(☎34-0715)
日時	10月22日～26日 午前9時30分～11時30分	11月12日～16日 午前9時30分～11時30分
対象	2歳児の親子3組	1歳～3歳児の親子5組

費用 1,000円 受け付け 9月17日～21日の午前9時から午後5時までに、それぞれの保育所に電話で

### 歴史散歩 30

お彼岸の過ごし方(古文書探訪8)

春分・秋分の日は中日として、その後七日間に行われる仏事が彼岸会といわれています。親類が集まって仏壇にお供えをし、備に読経してもらうのです。筆者は普段仏壇の奥深くにしまわれている過去帳に興味を覚え、顔も知らない先祖の話を聞くのが何よりの楽しみでした。それは、親類みんなで頂く「ちそうの数々」とも鮮明に記憶に残っています。

彼岸会が広く庶民に普及したのは江戸時代のことといわれ、年中行事として村落に定着していきまし。春秋という絶好の季節は、花見や月見といった行事とも結びつけられて今日まで受け継がれたのだと思われ。当然のことですが、江戸期における仏事祭礼は村落や各家庭の大切な行事である反面、仏事という古習で親類縁者が集ってにぎやかに過ごす場でもあったのです。

例えば、三祭村の俵約調書によります。「衣装や婚嫁に加入て仏事祭礼に関する俵約が事細かに記されています。

祭礼については、その時の産物有りりおわせにて、「汁菜を限るべし」として、近年は庶民に關しては、「近年増長過度」しているように見受けられるので、今後は「なるべくだけ軽々相習、勿論皆々實業」に取りはからうように指示しています。食事の用意がいらないように集まりは豊饒後にといつことや、「すべて仏事の儀、禁酒致すべく候」とあります。いすれも、厳密に守られなかったこと、今日の仏事の過ごし方に現れているといえるでしょう。

問い合わせ 美術博物館 ☎385432

